

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	オーディション対策	授業形態 / 必・選	講義	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験26年 フィットネスインストラクターとしてトレーニング指導を行う。また、モデルとして雑誌やCM、TV出演。スポーツ施設受託運営、出張パーソナルトレーニング、スポーツイベント企画を行う会社を運営も手掛ける。				
授業概要					
オーディションに必要なプロフィールの作成から、自己PRの方法を学ぶ。					
到達目標					
プロフィール写真や用紙の準備などを含め、全て自分で活動出来るようになることを目標とする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	俳優として大切なこと(礼儀・マナー等) 自己分析・1分間フリートーク
【前期】 6～10回目	プロフィールの重要性 プロフィール作成の準備・自己PRの研究・1分間フリートーク
【前期】 11～16回目	学内オーディションに向けてプロフィール用紙作成、自己PRの考察 1分間フリートーク
【前期】 17～21回目	ゲスト講師による講義と振り返り・1分間フリートーク 学内オーディション本番→反省点・改善点の研究
【後期】 1～5回目	契約時に大切な事 事務所選びの判断基準・1分間フリートーク
【後期】 6～10回目	芸能界のしくみ(会社の関係性等)・1分間フリートーク 模擬エントリー(実際に案件にエントリーするまでの流れを練習)
【後期】 11～15回目	学内オーディションに向けてプロフィール用紙作成、自己PRの考察 1分間フリートーク
【後期】 16～19回目	学内オーディション本番→反省点・改善点の研究・1分間フリートーク ゲスト講師による講義、振り返り
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	自分をいかに知ってもらうか、相手に伝える場がオーディションです。その為には自己分析による武器探しが大切となるので、自分自身としっかりと向き合ってください。
使用教科書	習得する内容に合わせ、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ボディサイエンス	授業形態 / 必・選	講義	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数 5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験26年 フィットネスインストラクターとしてトレーニング指導を行う。また、モデルとして雑誌やCM、TV出演。スポーツ施設受託運営、出張パーソナルトレーニング、スポーツイベント企画を行う会社を運営も手掛ける。			
授業概要				
セルフプロデュース力を高めていく為に「食生活・姿勢改善」について徹底的に追究していく。栄養学の基礎を学び、美容健康に効果的な食事メニューを考え日々の生活で実践できるようにする。また、ストレッチとトレーニングを通して無理なく良い姿勢を保持できるようにしていく。				
到達目標				
タレント・俳優・モデルとして常に最高のパフォーマンスを生む為に、自分で自分の身体を管理できるようになること。また、その意識を高めること。				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	現状確認(体組成測定、姿勢チェック&写真撮影) 体脂肪率・内臓脂肪レベル・BMI・基礎代謝・骨格筋率などの説明 ストレッチ
【前期】 6～10回目	栄養学の基礎…「代謝のいい体」とは？ 自分にちょうど良い摂取カロリー・炭水化物の量 ストレッチ
【前期】 11～15回目	抗酸化作用のある食べ物・免疫力を高める工夫 ストレッチ・トレーニング
【前期】 16～21回目	疲労回復のために・むくみ予防のために ストレッチ・トレーニング
【後期】 1～5回目	現状確認(姿勢チェック&写真撮影) ストレッチ・トレーニング
【後期】 6～10回目	自律神経について…心のケアも大切 ストレッチ・トレーニング
【後期】 11～15回目	自律神経と免疫機能 ストレッチ・トレーニング
【後期】 16～19回目	ストレッチ・トレーニング 姿勢チェック&写真撮影…1年間でどう変わったか確認
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	学んだ知識を日常生活にどんどん取り入れていくように意識しましょう。 日常生活をいかに丁寧に過ごすか、それが何より大切です。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	セルフスタイリング		授業形態 / 必・選	講義	必修
			年次	1年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴18年 20代からヘアメイクの第一線で活躍し、当時Make-Upを中心に活動しているArtistが主流の中、Hair Designに特化したArtistとして活動。大手企業広告やライブ、舞台などの仕事を幅広く手掛ける。				
授業概要					
キッチンとしたメイクの方法やスタイリングを学び、自分をより良く魅せる為のスキルを習得します。					
到達目標					
各場面(普段、ステージ上、プロフィール写真用など)に合わせ、それぞれ異なったメイクやファッションが必要となるので、自分に合った方法を見つけることが目的です。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアスタイルとヘアメイクの重要性 ・それぞれの場面(普段、プロフィール、仕事)のヘアメイクの違いなど
【前期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・スキンケアについて ・メイク道具の基礎知識 ・肌の特徴について ・肌のトラブルについて
【前期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・顔の特徴について(自分の顔を分析する) ・ベースメイクについて ・フェイシャルマッサージについて
【前期】 16～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・目元のメイク(アイライン、アイシャドウ) ・チーク ・眉毛のメイク
【後期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> ・リップ ・ヘアメイクとの組み合わせ方 ・ヘア道具(コテ、ヘアアイロンの使い方)
【後期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> ・服装について ・スタイリング剤の種類と使い方 ・自分の体にあったサイズの選び方、色の組み合わせ方
【後期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> ・服装での季節感について ・メイクとの合わせ方 ・流行のファッション、カラーについて ・小物の使い方
【後期】 16～20回目	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘアスタイル、メイク、ファッションを総合した自分のプロデュース ・自分らしさを生かしたキャラクターの作り方 ・ヘアメイクの重要性
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	間違った方法でメイクをすると、肌のトラブルの原因にもなりますので、基本から学びましょう。メイク一つでその人自身の印象も変わるので、自分をキッチンと表現する方法を見つけましょう。日々のスキンケアも大切ですので、生活習慣を疎かにせず、自分の健康も考えてください。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	分野別講座	授業形態 / 必・選		講義		必修	
		年次	年間授業数	年間単位数	5単位		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	1年次	5単位	
科目設置学科コース	音楽アーティスト科、芸能タレント科 全コース						
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目			該当	<input checked="" type="checkbox"/>	非該当	<input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経歴24年 高校時代よりバンド活動を行う。専門学校にて学んだ後、1998年レコーディングスタジオに就職し、数々のアーティストの音楽制作業務に携わる。						
授業概要							
専攻コースの授業内では習得の難しい様々な分野の基礎知識を、動画配信によるオンライン授業形式で行う。							
到達目標							
自身が音楽・芸能活動や仕事を行う上で、大半の事は自分で理解・判断し、達成への方法論を自ら考え出せる事を目標とする。							

授業計画・内容	
【前期】 1～2回目	・発声の基礎知識 歌唱、台詞(滑舌)
【前期】 3～8回目	・楽器の基礎知識 ギター、ベース、ドラム、キーボード、管楽器、ピアノ
【前期】 9～15回目	・音楽活動における基礎知識 譜面の読み方・書き方、リハーサルスタジオの使い方、楽器メンテナンスの方法
【前期】 16～19回目	・イベントの基礎知識① PA、照明、レコーディングの基礎知識。 イベント資料の作成方法。
【後期】 1～4回目	・イベントの基礎知識② ライブ、レコーディングの進行方法
【後期】 5～9回目	・音の基礎知識 電源、マイクの原理、音の仕組み、デジタル変換
【後期】 10～13回目	・パソコンの基礎知識 スペック、オーディオ、ピクチャ、ムービーについて
【後期】 14～19回目	・卒業後の進路に向けて デビュー、就職
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	今の時代、ある程度の事は自分一人で出来るスキルが求められます。「興味がない、関係ない」で終わらせず、自分自身の為に学ぶという意識を持って取り組んでください。
使用教科書	習得する内容に合わせ、随時テキストデータをPDF形式で配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	発声・ナレーション	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験30年 元アナウンサー。リポーターやキャスターとして活躍。ラジオでは有名女優のアシスタントを務めたのはじめ多数出演し、パーソナリティーとしてレギュラーで活躍した。				
授業概要					
プロの俳優、タレントとして人前で話すための基礎力を学ぶ。 呼吸法・発声・滑舌練習方法を身に付け、自分で練習し、定着することを目指す。 初歩的な原稿読み、朗読などを練習する。					
到達目標					
人前で話すスキル(声の大きさ、滑舌の良さ、声の響き)を掴み、いつでもそれが出せるようになる。 初歩的なナレーション原稿、読み聞かせの本などを、人に聞かせるように読むコツを掴む。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	呼吸法・口の形を確認し、発声練習、滑舌練習をする。 練習方法を身に付け、習慣にする。
【前期】 6～10回目	さまざまな例文を使って滑舌練習をする。 鼻濁音・無声音などのテクニックを学習する。
【前期】 11～15回目	短い物語、こども落語などを使って人に聞かせる読み方の感覚を掴む。
【前期】 16～20回目	アクセント辞典を活用する。CM、ナレーションなどの原稿の下読み、アクセント調べを自分でする。
【後期】 1～3回目	ここまでの振り返り。滑舌練習の強化。 発声・発音の治りにくい癖の手直し。
【後期】 4～7回目	撮影現場で求められる原稿読み、ナレーションのコツを学ぶ。
【後期】 8～11回目	少し長いナレーションに挑戦。(さまざまな原稿読み)
【後期】 12～15回目	発声・滑舌練習の振り返り。
【後期】 16～19回目	フリートーク(自己PR、お題のあるトーク、キーワードトーク)
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	発声・滑舌練習をコツコツ毎日やるのが大切です。 原稿読みは楽しんで思い切り表現しましょう!
使用教科書	アクセント辞典(使用するときだけ)、使用プリントは毎回講師が配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	映像演技(基礎)	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験18年 15歳から演劇をはじめ、その後コメディ劇団に所属。現在は殺陣パフォーマーとしても活動しており、国内および海外公演も行っている。				
授業概要					
映像台本・CMコンテなどを使用し、実践的に撮影手順・カメラワークを学ぶことによってデビュー後撮影現場(CM、ドラマ、映画)に対応できる力をつける。					
到達目標					
応用的な表現手法を学び、様々な演出に対して演技プランを提示できる俳優を目指す。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	基礎表現の確認。発声滑舌から感情表現まで。
【前期】 6～10回目	シアターゲームを用いた対人反応・リアクション、演技リズム感強化。
【前期】 11～15回目	ストーリー掌握・創出力をつけるためにエチュード(即興劇)を行う。
【前期】 16～20回目	役作りの為の役研究。 台本に描かれていない人物の生い立ちやプロフィールを細かく設定することにより役に対する理解を深めていく。
【後期】 1～4回目	エチュードバリエーションで演技の柔軟性を高める。
【後期】 5～8回目	舞台視野獲得の為の集団行動レッスン。
【後期】 9～13回目	口立て演出に対するレッスン。同時にテンション芝居稽古。
【後期】 14～16回目	参考映像の上映会
【後期】 17～19回目	撮影と試写を繰り返し、反省点を改善していく
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	撮影期間は髪型・衣装・メイクがつながるよう注意する。
使用教科書	既成、作成台本を適宜配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ウォーキング & ポージング	授業形態 / 必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経歴12年 国内外で活動するファッションモデルとして東京コレクションなどのブランドファッションショーやスチール広告などの他、ミュージックビデオや企業CM・ラジオなど多岐に渡って出演。 ミスターコンテストの日本代表として世界大会に出場した経験も持っている。				
授業概要					
姿勢・視線・表情・考え方等、タレント・俳優・モデルに必要な基本的知識と技術を学び、ウォーキングとポージングの基本技術を通して自己表現の幅を広げていく。					
到達目標					
モデルの基本技術を身に付け、目的に合わせたウォーキング・ポージングができるようになる。また、それを通して自分が目指していくものを具体化していき、自分の表現スタイルを見つける。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> モデルという職業についての基本知識 仕事の種類や求められるスキル等について 普段の生活からの心持ち等
【前期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> スタイル、体調管理、体のケア、仕事獲得までの流れ 等について 基本的な立ち姿、姿勢、歩き方の基礎 平靴(スニーカー等)での歩き方について
【前期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> ファインダー越しの世界(画角)を知り、自分がどう見えるかの研究 基本的なポージング基礎と表情について
【前期】 16～21回目	<ul style="list-style-type: none"> 自分の強みとなる角度、表情、歩き方、手の使い方、メイク等について 自分のクセや苦手分野の克服
【後期】 1～5回目	<ul style="list-style-type: none"> コンポジットの作り方を知る ・革靴やヒールでの基本的な歩き方 ターンについて ・テンポに合わせたウォーキングスキル
【後期】 6～10回目	<ul style="list-style-type: none"> 服装やテーマに合ったポージング 仕事ジャンルによる求められるポージングの違いについて 小物の使い方について
【後期】 11～15回目	<ul style="list-style-type: none"> シチュエーション別の歩き方とポージングについて CM等の映像におけるモデルに求められる演技について
【後期】 16～19回目	<ul style="list-style-type: none"> 特殊な服装(和装やドレス)でのウォーキングやポージングについて
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	ウォーキングやポージングが必要なのはモデルだけではありません。この授業を通して表現者としてだけでなく、普段の生活から一流の人間として見られるよう成長していきましょう。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ダンス(基礎)	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験27年 ダンススタジオ主宰、イベント、テーマパーク・ショー等のダンサー出演振付、振付アシスタントとして活動。				
授業概要					
身体の姿勢、使い方のチェックから、基本的なステップ(リズムの取り方)を学ぶ。 発表会を通して、ダンスの基本を習得する。					
到達目標					
ステージングや、舞台演出に必要となる基本的な動きを習得する。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	ストレッチ、アイソレーション リズムトレーニング、体幹トレーニング
【前期】 6～10回目	BOX リズムとステップの練習曲
【前期】 11～15回目	リズムステップの練習 コンビネーション
【前期】 16～21回目	リズムステップチェック 前期試験曲振り付け
【後期】 1～5回目	発表会振り付け
【後期】 6～10回目	衣装合わせ、振り固め
【後期】 11～15回目	衣装付きリハーサル、振り固め 発表会
【後期】 16～19回目	後期試験曲振り付け
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	踊る為には筋力、柔軟性、姿勢が大切になるので、毎日のトレーニングに努めてください。
使用教科書	必要に応じて適宜プリント等資料配布

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	ヴォイトレ&表現歌唱(基礎)	授業形態/必・選	実習	必修
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数 2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース			
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>
担当講師 実務経歴	実務経験11年 幼少期から合唱団などに所属しながら、ミュージカルなどにも出演。高校時代にはバンド活動を行う。2011年配信リリース。現在はヴォーカリストとしてソロ活動の他、コーラスワークやMC、モデルなども行う。			
授業概要				
歌を歌う為に必要なトレーニング方法を学ぶ。				
到達目標				
歌唱に必要な基礎技術(呼吸、発声、姿勢、リズム、など)を習得する。				

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	姿勢、腹式呼吸、体幹(身体作り)
【前期】 6～10回目	基礎を活かし、ブレスコントロール
【前期】 11～15回目	声帯の使い方、ストレッチ
【前期】 16～19回目	口腔内の広げ方、表情筋トレーニング
【後期】 1～5回目	母音歌唱
【後期】 6～10回目	舌トレーニング、滑舌、子音
【後期】 11～15回目	響き作り
【後期】 16～20回目	4月からの応用
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	声の土台作り、身体の使い方を学び、歌唱する際の基盤を作り、コントロールできるようにしていきましょう。
使用教科書	習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	舞台演技(基礎)	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	39回(78単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験18年 15歳から演劇をはじめ、その後コメディ劇団に所属。現在は殺陣パフォーマーとしても活動しており、国内および海外公演も行っている。				
授業概要					
様々な役を演じ、舞台での演技表現とテクニックを学ぶ。					
到達目標					
舞台上で自由に動ける役者・魅力的なキャラクターを演じれるようになる。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	台本を覚える。その際、自分のセリフだけでなく、相手のセリフも覚える。
【前期】 6～10回目	舞台の発声について学ぶ。
【前期】 11～15回目	台詞の表現力向上の為の声の5つの要素について学ぶ。
【前期】 16～19回目	舞台上を自由に動く為の行動動機付けレッスンを行う。
【後期】 1～4回目	「間」を上手く使えるようになる為のサブテキストについて学ぶ
【後期】 5～8回目	一つ一つの台詞にどんな想いが込められているのか、役の背景に照らし合わせながら分析していく。
【後期】 9～13回目	台本分析でイメージした事を踏まえ、舞台上を自由に動いて演技してみる。
【後期】 14～16回目	舞台という限りあるアクティングエリアで、観客席から自分がどう見えているか、どのように動く事で、どういう効果が生まれるかを学ぶ。
【後期】 17～20回目	舞台は相手役の事を常に考え表現していかなければならず、様々なアンテナを張り、作品全体の事を感じながら演技をしていかなければならないことを学ぶ。
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	身体表現を行う為、動きやすい服装で受講する。
使用教科書	既成、作成台本を適宜配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	殺陣&アクション(基礎)	授業形態/必・選	実習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	40回(80単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	俳優養成コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	実務経験19年 2003年よりTVドラマ出演し、以降多くのドラマや舞台、映画等で俳優として活躍。国内外で活動する殺陣パフォーマンスチームを主催し、自身も殺陣師としても活動中。				
授業概要					
基本の所作や立ち振る舞いなど、安全を第一に考えて行います。 着付けや型など、殺陣の基本を学びます。					
到達目標					
舞台やドラマで必要になる立ち廻りの基本技術の習得を目標とします。					

授業計画・内容	
【前期】 1～5回目	【殺陣】帯、袴の付け方、畳み方/刀の構え方、振り方 【アクション】パンチ、キックの打ち方
【前期】 6～10回目	【殺陣】基本の型19手習得 【アクション】パンチ、キックの捌き方
【前期】 11～15回目	【殺陣】対面での素振り 【アクション】対面での素振り
【前期】 16～20回目	【殺陣】1対1の立ち回り 【アクション】1対1の立ち回り
【後期】 1～5回目	【殺陣】二刀、逆手の基礎稽古 【アクション】回転蹴り、マット運動を使った技の取得
【後期】 6～10回目	【殺陣】1対複数人の立ち回り 【アクション】1対複数人の立ち回り
【後期】 11～15回目	【殺陣/アクション】舞台表現の立ち回り
【後期】 16～20回目	【殺陣/アクション】映像表現の立ち回り
評価方法	学期末の試験、及び平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	一歩間違えれば怪我にもつながりますので、遊び半分な気持ちではなく真剣に向き合ってください。
使用教科書	習得する内容に合わせて、随時プリントを配布。

専門学校ESPエンタテインメント東京

授業科目名	タレント実地演習 I	授業形態 / 必・選	演習	必修	
		年次	1年次		
授業時間	180分(1単位時間45分)	年間授業数	7回(28単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置学科コース	芸能タレント科 全コース				
授業科目要件	実務経験のある教員による授業科目		該当 <input checked="" type="checkbox"/>	非該当 <input type="checkbox"/>	
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。 イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。					

授業計画・内容	
1回目～2回目	学園祭準備①②
3回目～4回目	学園祭本番①②
5回目	学園祭片付け、原状回復
6回目	コースイベント
7回目	年度末公演
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)
学生へのメッセージ	この演習を通じて、現場における流れや、他社とのコミュニケーションの仕方等確りと学んでください。
使用教科書	当日の役割分担表、業務要項等を配布